

# 第35回 少年野球千葉県選手権大会【ろうきん旗大会】

## 2019年 11月3日(日)・4日(月/祝)・9日(土)・16日(土)



### 《使用球場》

- ・ナスパスタジアム
- ・下総運動公園野球場
- ・八生スポーツ広場
- ・久住スポーツ広場
- ・船橋市民球場
- ・神崎町営球場
- ・水と緑運動広場野球場
- ・白井運動公園野球場
- ・鎌ヶ谷市営球場
- ・青葉の森野球場
- ・海上コミュニティ球場
- ・旭町スポーツの森公園球場
- ・フクダ電子スタジアム
- ・印旛中央公園野球場
- ・妙典野球場

### 《参加チーム》

- |                    |                   |                  |
|--------------------|-------------------|------------------|
| ★磯辺シャークス (千葉)      | ★菊間ツインズ (市原)      | ★四小地区少年野球クラブ (柏) |
| ★緑町レディイーグルス (千葉)   | ★新浜野球部 (市川)       | ★トライスター (柏)      |
| ★都賀の台レッドウィングス (千葉) | ★鶴指少年野球部 (市川)     | ★豊上ジュニアーズ (柏)    |
| ★土気グリーンウェーブ (千葉)   | ★八幡チャレンジャーズ (市川)  | ★浦安ドルフィンズ (葛南)   |
| ★花園ライオンズ (千葉)      | ★平川レッドスターズ (市川)   | ★浦安ニューラッキーズ (葛南) |
| ★仁戸名ファミリーズ (千葉)    | ★福王台ファイヤーズ (かずさ)  | ★鎌ヶ谷スラッガーズ (葛南)  |
| ★夏見台アタックス (船橋)     | ★富木田ファイターズ (かずさ)  | ★布佐スパイダース (葛南)   |
| ★小栗原ベアーズ (船橋)      | ★大和田少年野球クラブ (かずさ) | ★野栄スポーツ少年団 (東総)  |
| ★F T J (船橋)        | ★嶺岡インパルス (市原)     | ★海上マリンキッズ (東総)   |
| ★習志野サンデーズ (船橋)     | ★小轡ジュニアーズ (九十九)   | ★ジュニアコスモス (北総)   |
| ★習志野フェニックス (習志野)   | ★東陽スポーツ少年団 (九十九)  | ★佐原ジュニアスターズ (北総) |
| ★谷津サザナミ (習志野)      | ★南部ルーキーズ (東葛)     | ★成田マリーシアズ (北総)   |
| ★鷺沼マリナーズ (習志野)     | ★清水タイガース (東葛)     | ★内郷スターズ (北総)     |
| ★高津ボーイズ (八千代)      | ★流山ホークス (東葛)      | ★富里Rエンゼルス (印旛)   |
| ★キングファイターズ (八千代)   | ★東深井ボーイズ (東葛)     | ★四街道ブルースターズ (印旛) |
| ★千葉市原マリナーズ (市原)    | ★常盤平ボーイズ (東葛)     | ★印旛ブラザーズ (印旛)    |

### 《試合結果》

トーナメント表は県HP試合結果に掲示しております。

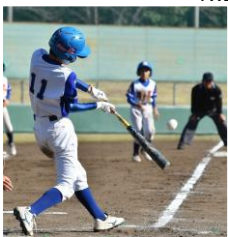


**優勝 鶴指少年野球部**

(市川地域)

**準優勝 小栗原ベアーズ**

(船橋地域)



**第三位 四街道ブルースターズ**

(印旛地域)

**第三位 磯辺シャークス**

(千葉地域)



★ 鶴指少年野球部 主将 内山 諭 (ウチヤマ サトル)

僕達は、今まで大きな大会で優勝したことがないので、この大会こそは優勝したいと思い、大会にのぞみました。初戦から、チームワークやバッティングのつながり、鍛えぬいてきた守備の実力を発揮できました。準決勝は、バッティングがつながらず、きつい試合でした。でも、ベンチの仲間の声援や周りの支えのおかげでぎりぎり勝つことができました。そして、決勝戦では、いつもの倍以上の気迫で、いい雰囲気でも戦うことができたので、優勝することができたと思います。連盟、審判、その他周りの人のおかげで、いい大会だったと思います。



★ 鶴指少年野球部 推薦選手 前田 心 (マエダ シン)

「プレイボール！」遂にろうきん旗決勝戦が始まった。今年3度目の県大決勝、僕は絶対に負けられないと思った。準決勝が苦しい試合だったので、決勝は更にきびしい試合になると思っていた。初回の2点先制は、すごく気持ちが楽になった。3回到1点返された時はドキドキした。僕はキャッチャーなので、何とかおさえられるようにリードした。ワンチームの力で優勝する事が出来た。3度目の決勝戦でやっともらえた金メダル。本当にうれしかった。この気持ちを忘れずに中学へ行って更に野球を頑張ります！



★ 鶴指少年野球部 監督 橋本 英樹 (ハシモト ヒデキ)

夏の日報旗の悔しい敗戦から2ヶ月。ろうきん旗での、優勝を目標にチームの立て直し、選手の意識改革を課題に、選手と話し合い、日々の練習に取り組んで来ました。大会が開幕すると、選手達が「優勝するぞ！」と言う強い気持ちが一戦一戦強まり、必死に勝ちに行く姿が印象的でした。今まで感じた事がない、強い気持ちで取れた優勝だと思えます。このろうきん旗を通じて、選手達の更なる成長を感じ、そして、この大舞台をサポートして頂いた、全ての方々へ、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



★ 小栗原ベアーズ 主将 田中 博己 (タナカ ヒロキ)

僕は「ろうきん旗大会」を通して、仲間の大切さを知りました。この大会の中で、劣勢の時が何度もありました。自分が失敗したり、チームメイトの誰かが失敗した時、みんなで声を掛け合い、カバーができました。自分だけでは決勝戦までこれなかった、仲間がいたからこそ県大会という舞台で準優勝できたと思います。そして準優勝という結果が残せたのは、これまでやってきた毎日の素振りや走り込み、ベアーズでの練習の努力が実を結んだんだと思います。これからもっと野球を上手くなるために、もっともっと努力を忘れずに頑張っていきたいと思えます。



★ 小栗原ベアーズ 推薦選手 高岡 煌音 (タカガキ キラト)

この大会で一番心に残ったのは、3回戦です。今大会では接戦が続き、思うような野球が出来ず苦しみました。その中でもこの試合は、2回に先制され、その後も点の取り合いが続き、中々流れを掴めませんでした。ですが6回に相手のエラーも絡み同点に追い付きチャンスで僕に打席が回って来ました。センター前にタイムリーヒットを打つことができ、決勝打になりました。接戦を制する事が出来るようになったのは、6年生最後の大会でチームが一丸になれたからだと思えます。このチームで準優勝まで勝ち進む事が出来て、とても嬉しかったです。

★ 小栗原ベアーズ 監督 今村 敬行

ろうきん旗大会を終えて振り返ってみると、まず出場することができたことに感謝する思いと目標以上の結果を残せたことに大きな喜びを感じております。今年のチームは先制しなければ勝てないチームでしたが、逆転しながら勝ち上がることができたことに選手達の精神面に大きな成長を感じました。選手達にはこの大会に出場できたこと、経験したこと、準優勝という結果を残せたことを活かしてこれからも更に成長してもらいたいと思っております。最後に、大会を運営して頂きました役員の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

